

別 記

令和7年中の火災の概要

(※ 本通知に示す令和7年中の火災件数等の数値は速報値であり、確定値ではありません。)

予 防 部 調 査 課

目 次

1	火災の発生状況	1
2	火災による死傷者の状況	2
	(1) 火災による死者	
	(2) 火災による負傷者	
3	主な出火原因別の火災状況	4
	(1) 主な出火原因別の火災状況	
	(2) 設備機器別の火災状況	
4	主な建物用途別の火災状況	5
5	住宅火災の状況	8
	(1) 住宅火災及び住宅火災による死者の状況	
	(2) 火元住戸における住宅用火災警報器又は自動火災報知設備、火災安全システム及び警備会社の警報器の設置状況	
6	令和7年中の火災の特徴 ～過去最多となった電気設備機器火災～	11
	(1) 電気設備機器の火災	
	(2) リチウムイオン電池関連火災	
	(3) 火災事例	

巻末資料（令和7年中）

- 別表1 消防署別火災状況
- 別表2 区市町村別火災状況
- 別表3 主な出火原因別火災状況
- 別表4 火元建物の用途別主な出火原因
- 別 紙 注釈及び凡例

1 火災の発生状況

最近5年間の火災状況をみたものが表1です。

表1 最近5年間の火災状況

年 別	火災の発生状況																	
	全 火 災 件 数	建 物 火 災					林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	治 外 法 権	延 焼 火 災	管 外 か ら の 延 焼 火 災	焼 損 床 面 積 (m^2)	焼 損 表 面 積 (m^2)	死 者	負 傷 者
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や												
令和3年	3,939	2,812	71	76	349	2,316	6	215	1	-	901	4	-	16,448	7,456	86 (14)	664	
令和4年	3,953	2,850	80	75	387	2,308	3	187	3	-	909	1	-	21,974	6,717	89 (14)	742	
令和5年	4,330	3,057	71	64	439	2,483	7	218	2	-	1,045	1	-	17,316	7,328	86 (15)	750	
令和6年	4,518	3,283	82	62	424	2,715	5	228	1	1	999	1	-	26,491	7,599	94 (5)	794	
令和7年	5,276	3,796	71	75	453	3,197	4	253	2	3	1,215	3	-	19,097	8,429	91 (8)	927	
5年平均	4,403	3,160	75	70	410	2,604	5	220	2	1	1,014	2	-	20,265	7,506	89 (11)	775	
前年比	758	513	▼11	13	29	482	▼1	25	1	2	216	2	-	▼7,394	830	▼3 (3)	133	
5年平均比	873	636	▼4	5	43	593	▼1	33	-	2	201	1	-	▼1,168	923	▼2 (▼3)	152	

注1 死者欄の()内の数値は自損行為による死者を内数で示しています。

2 治外法権火災及び管外からの延焼火災は、件数のみ全火災件数に計上しています。

- 令和7年中の火災件数は5,276件で、前年と比べて758件増加。
- 5,000件を超える火災件数は、平成25年以降12年ぶりである。
- 1日あたりの火災件数は、平均14.5件発生。
- 全火災件数に占める建物火災の割合は71.9%で前年(72.7%)と比べて0.8ポイント減少。
- 延焼拡大率(建物火災に占める部分焼以上の火災の割合)をみると15.8%で前年(17.3%)と比べて1.5ポイント減少。

2 火災による死傷者の状況

(1) 火災による死者

火災による死者発生状況をみたものが表2、年齢区分及び主な出火原因別の死者発生状況（自損を除く）をみたものが表3です。

表2 最近5年間の火災による死者発生状況

年 別	火死者 災の 発生 件数 した	死者 発生 率 (%)	火 災 種 別										死 者 数 合 計	年 齢 区 分						
			建 物 火 災					林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他		5 歳 以 下	6 19 歳	20 64 歳	高 齢 者			年 齢 不 明
			小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や										小 計	前 期 高 齢 者	後 期 高 齢 者	
令和3年	78(3,935)	2.0	71	19	13	37	2	-	1	-	-	6	86	-	-	26	60	17	43	-
令和4年	78(3,952)	2.0	70	19	13	29	9	-	1	-	-	7	89	-	1	26	61	23	38	1
令和5年	82(4,329)	1.9	74	17	15	29	13	-	5	-	-	3	86	-	-	28	58	19	39	-
令和6年	84(4,517)	1.9	81	24	8	38	11	-	1	-	-	2	94	1	1	28	64	17	47	-
令和7年	87(5,273)	1.6	78	19	17	34	8	-	3	-	-	6	91	-	-	25	66	20	46	-
5年平均	82(4,401)	1.9	75	20	13	33	9	-	2	-	-	5	89	-	-	27	62	19	43	-
前年比	3(756)	▼0.3	▼3	▼5	9	▼4	▼3	-	2	-	-	4	▼3	▼1	▼1	▼3	2	3	▼1	-
5年平均比	5(872)	▼0.3	3	▼1	4	1	▼1	-	1	-	-	1	2	-	-	▼2	4	1	3	-

注1 ()内の数値は、全火災件数から治外法権火災及び管外からの延焼火災の件数を除いた数値になります。

2 死者発生率は「死者の発生した火災件数÷()内の数値」の計算式で算出しています。

表3 年齢区分及び主な出火原因別の死者発生状況（自損を除く）

年 齢 区 分	年 別	合 計	男 女 別		主 な 出 火 原 因							
			男 性	女 性	た ば こ	ス ト ー ブ	電 気	テ ー ブル 等	ガ ス	コ ー ド	(放 疑 い 含 む) 火	差 込 み プ ラ グ
合 計	6年	89	51	38	19	5	5	3	4	-	5	48
	7年	83	49	34	17	8	7	5	3	2	1	40
5 歳 以 下	6年	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	7年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 - 1 9 歳	6年	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	7年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 0 - 6 4 歳	6年	24	15	9	7	1	2	-	1	-	-	13
	7年	19	12	7	4	1	1	-	-	-	-	13
高 小 計	6年	63	35	28	12	4	3	3	1	-	5	35
	7年	64	37	27	13	7	6	5	3	2	1	27
前 期 高 齢 者	6年	16	9	7	5	1	-	-	-	-	1	9
	7年	18	13	5	6	1	3	-	2	1	-	5
後 期 高 齢 者	6年	47	26	21	7	3	3	3	1	-	4	26
	7年	46	24	22	7	6	3	5	1	1	1	22

○ 火災による死者数は91人発生し、前年と比べて3人減少。

○ 自損を除く主な出火原因別の死者発生状況は、たばこによる死者が17人(20.5%)で最多。

○ 自損を除く高齢者の死者数は64人(77.1%)発生し、前年と比べて1人増加。

(2) 火災による負傷者

負傷程度別負傷者発生状況をみたものが表4、年齢区分別負傷者発生状況をみたものが表5です。

表4 最近5年間の負傷程度別負傷者発生状況

年 別	合 計	負 傷 程 度				負 傷 者 区 分	
		重 篤	重 症	中 等 症	軽 症	一 般 人	消 防 活 動 従 事 者
令 和 3 年	664(4)	20(3)	79(1)	162(-)	403(-)	658	6
令 和 4 年	742(4)	17(4)	76(-)	175(-)	474(-)	734	8
令 和 5 年	750(1)	9(1)	95(-)	159(-)	487(-)	732	18
令 和 6 年	794(3)	21(2)	97(1)	176(-)	500(-)	786	8
令 和 7 年	927(4)	23(2)	70(2)	200(-)	634(-)	906	21
5 年 平 均	775(3)	18(2)	83(1)	174(-)	500(-)	763	12
前 年 比	133(1)	2(-)	▼27(1)	24(-)	134(-)	120	13
5 年 平 均 比	152(1)	5(-)	▼13(1)	26(-)	134(-)	143	9

注 () 内は30日死者を内数で示しています。

表5 最近5年間の年齢区分別負傷者発生状況

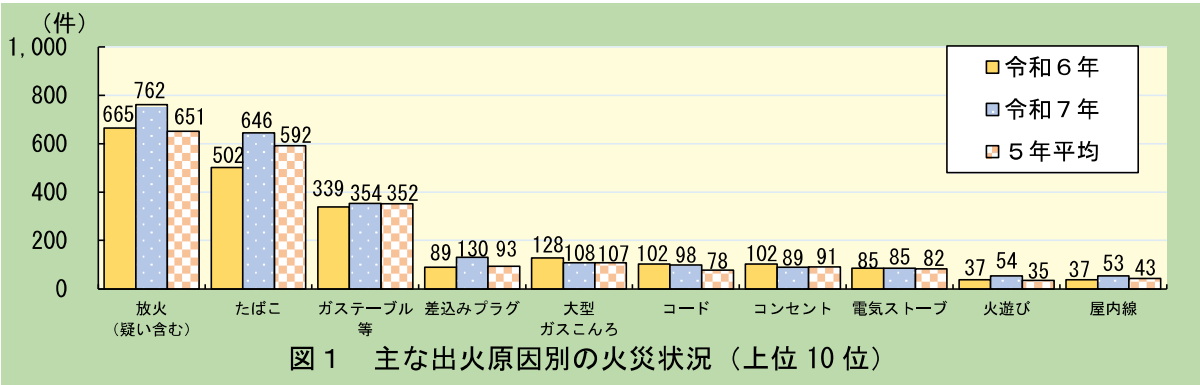
年 別	合 計	年 齢 区 分					
		5 歳 以下	6 19 歳	20 64 歳	高 齢 者		
					小 計	前 高 齢 者	後 高 齢 者
令 和 3 年	664	12	18	425	209	82	127
令 和 4 年	742	10	32	469	231	101	130
令 和 5 年	750	16	34	463	237	94	143
令 和 6 年	794	12	65	518	199	68	131
令 和 7 年	927	18	55	626	228	85	143
5 年 平 均	775	14	41	500	221	86	135
前 年 比	133	6	▼10	108	29	17	12
5 年 平 均 比	152	4	14	126	7	▼1	8

○ 火災による負傷者は927人発生し、前年と比べて133人増加。また、負傷者数は過去5年間で最多。

3 主な出火原因別の火災状況

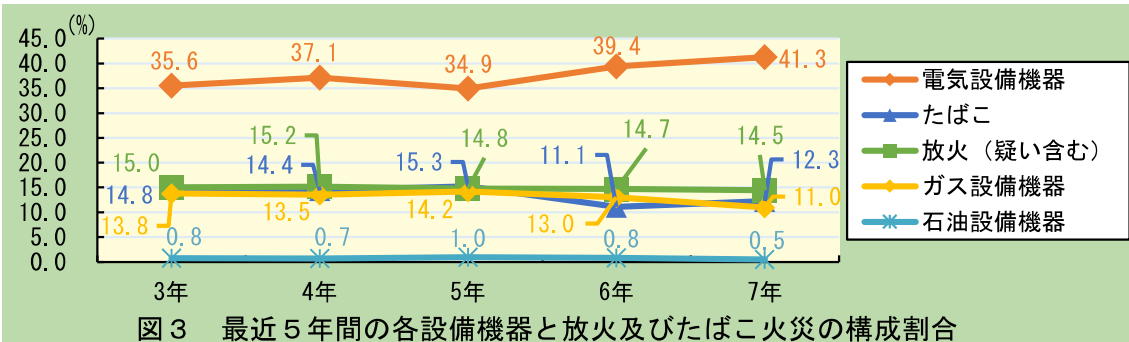
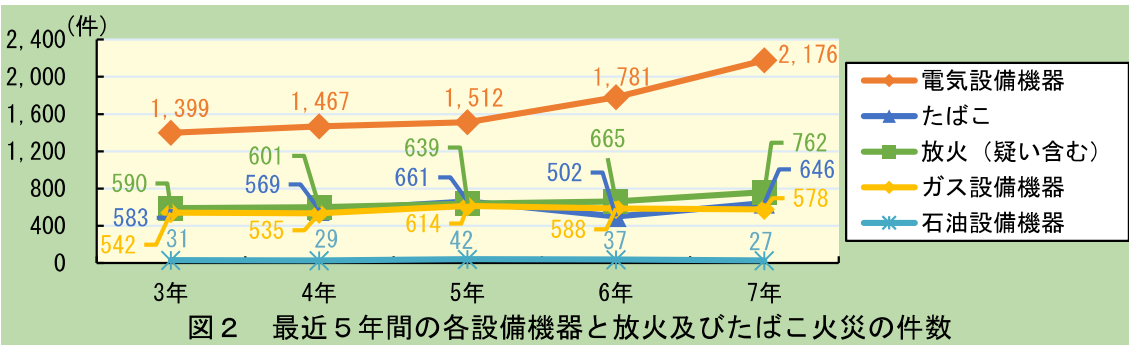
(1) 主な出火原因別の火災状況

主な出火原因別（上位 10 位）の火災状況をみたものが図 1 です。



(2) 設備機器別の火災状況

火災を出火原因別に放火、たばこ、電気設備機器、ガス設備機器、石油設備機器に分類した件数をみたものが図 2、全火災件数（治外法権及び管外からの延焼火災を除く）に占める割合をみたものが図 3 です。



- 令和 7 年中の主な出火原因は、上位から「放火（疑い含む）」、「たばこ」、「ガステーブル等」の順となっており、前年と比べて「放火（疑い含む）」の件数は 97 件増加し、「たばこ」の件数は 144 件増加。
- 各設備機器の火災件数は、ガス設備機器、石油設備機器がほぼ横ばいの件数であるのに対し、電気設備機器に起因する火災は 2,176 件で最近 5 年間で最多。また、前年と比べて 395 件増加し、全火災件数の 41.3% を占める。

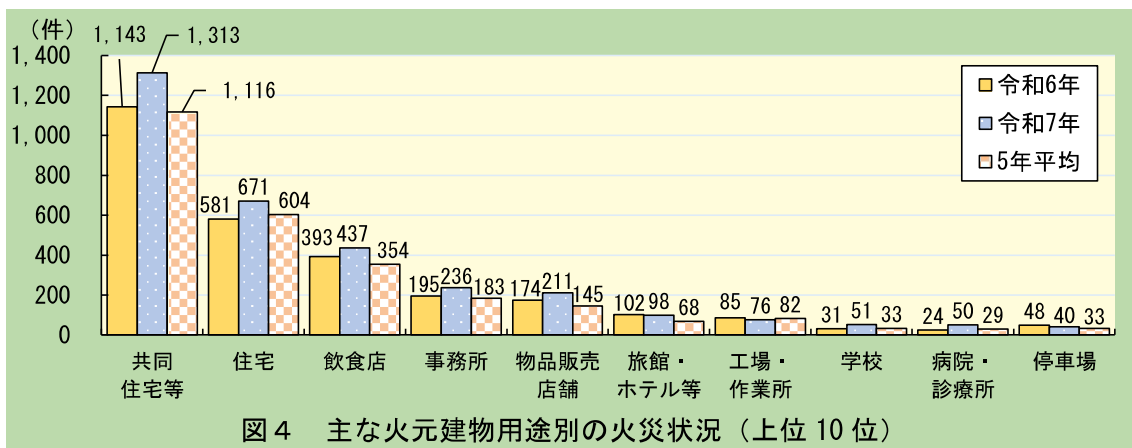
4 主な建物用途別の火災状況

建物から出火した火災のうち、住宅火災及び住宅以外の用途（上位8位）から出火した火災をみたものが表6、主な火元建物用途別の火災状況（上位10位）をみたものが図4です。住宅以外の用途（上位8位）から出火した火災の主な出火原因をみたものが表7です。

表6 建物用途別の火災状況

年 別	建物から出火した火災（合計）	住 宅 火 災			住 宅 以 外 の 用 途 （ 上 位 8 位 ）							
		小計	住宅	共同住宅等	飲食店	事務所	物品販売店舗等	旅館・ホテル	工場・作業場	学校	病院・診療所	停車場
令和3年	2,720	1,617	600	1,017	288	162	117	26	74	24	26	25
令和4年	2,778	1,606	588	1,018	289	141	110	51	93	30	24	31
令和5年	2,975	1,669	578	1,091	363	182	114	62	80	29	20	20
令和6年	3,216	1,724	581	1,143	393	195	174	102	85	31	24	48
令和7年	3,698	1,984	671	1,313	437	236	211	98	76	51	50	40
5年平均	3,077	1,720	604	1,116	354	183	145	68	82	33	29	33
前年比	482	260	90	170	44	41	37	▼4	▼9	20	26	▼8
5年平均比	621	264	67	197	83	53	66	30	▼6	18	21	7

注 事務所は15項のうち事務所、官公署及び銀行の合計です。



注 事務所は15項のうち事務所、官公署及び銀行の合計です。

- 建物から出火した火災は3,698件で前年（3,216件）と比べて482件増加し、最近5年間では最多。
- 住宅火災は1,984件（53.7%）で建物から出火した火災の5割以上を占めており、前年と比べて260件増加し、最近5年間では最多。
- 飲食店の火災件数は437件で、前年と比べ44件増加し、5年平均と比べ83件増加し、最近5年間で最多。
- 事務所の火災件数は、236件で前年（195件）と比べて41件増加し、最近5年間で最多。

表7 住宅以外の用途（上位8位）から出火した火災の主な出火原因

出主 火原 原因 な	合 計	こ 大 型 ガ ロ ス	レ 大 型 ガ ジ ス	コ ン セ ン ト	た ば こ	プ 差 ラ 込 グ み	テ ガ ー ブ ル 等 ス	屋 内 線	電 気 冷 蔵 庫	そ の 他	
飲 食 店	6 年	393	111	34	17	18	12	10	5	1	185
	7 年	437	85	29	21	14	13	10	9	4	252
	5年平均	354	91	28	18	13	8	7	6	2	181
	前年比	44	▼26	▼5	4	▼4	1	-	4	3	67

出主 火原 原因 な	合 計	プ 差 ラ 込 グ み	コ ー ド	蛍 光 灯	コ ン セ ン ト	テ ガ ー ブ ル 等 ス	屋 内 線	電 気 ス ト ー ブ	た ば こ	そ の 他	
事 務 所	6 年	195	12	11	5	11	3	3	1	3	146
	7 年	236	18	15	6	5	3	3	3	2	181
	5年平均	183	12	9	6	7	2	3	2	6	136
	前年比	41	6	4	1	▼6	-	-	2	▼1	35

出主 火原 原因 な	合 計	プ 差 ラ 込 グ み	コ ン セ ン ト	屋 内 線	（放 疑 い 含 む） 火	蛍 光 灯	こ 大 型 ガ ロ ス	コ ー ド	た ば こ	そ の 他	
物 品 販 売 店 舗 等	6 年	174	6	5	4	5	3	3	11	4	133
	7 年	211	13	9	9	8	6	6	5	3	152
	5年平均	145	8	6	5	4	3	3	6	3	108
	前年比	37	7	4	5	3	3	3	▼6	▼1	19

出主 火原 原因 な	合 計	た ば こ	プ 差 ラ 込 グ み	コ ン セ ン ト	（放 疑 い 含 む） 火	コ ー ド	テ ガ ー ブ ル 等 ス	そ の 他	
旅 館 ・ ホ テ ル 等	6 年	102	9	7	1	2	3	-	80
	7 年	98	5	2	2	2	2	2	83
	5年平均	68	5	3	1	2	2	1	55
	前年比	▼4	▼4	▼5	1	-	▼1	2	3

出主 火 原因 な		合 計	こ ん ろ	大 型 ガ ス	コ ン デ ン サ	屋 内 線	コ ー ド	溶 接 器	そ の 他
工 場 ・ 作 業 場	6年	85	3	3	1	3	9	66	
	7年	76	5	4	2	2	2	61	
	5年平均	82	2	5	1	2	4	68	
	前年比	▼9	2	1	1	▼1	▼7	▼5	

出主 火 原因 な		合 計	(放 疑 い 含 む) 火	コ ン セ ン ト	蛍 光 灯	こ ん ろ	大 型 ガ ス	コ ー ド	モ ー タ	火 遊 び	コ ン デ ン サ	そ の 他
学 校	6年	31	-	-	-	-	-	2	-	1	-	28
	7年	51	8	3	1	1	1	1	1	1	1	34
	5年平均	33	3	1	2	-	-	1	1	1	-	24
	前年比	20	8	3	1	1	▼1	1	1	-	1	6

出主 火 原因 な		合 計	プ ラ ダ グ み	差 込 み	蛍 光 灯	(放 疑 い 含 む) 火	コ ン セ ン ト	モ ー タ	ガ ス パ ー ナ	電 気 ス ト ー ブ	ス タ ン ド 灯	白 熱 灯	そ の 他
病 院 ・ 診 療 所	6年	24	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	21
	7年	50	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	35
	5年平均	29	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	23
	前年比	26	4	1	1	2	1	1	1	1	1	1	14

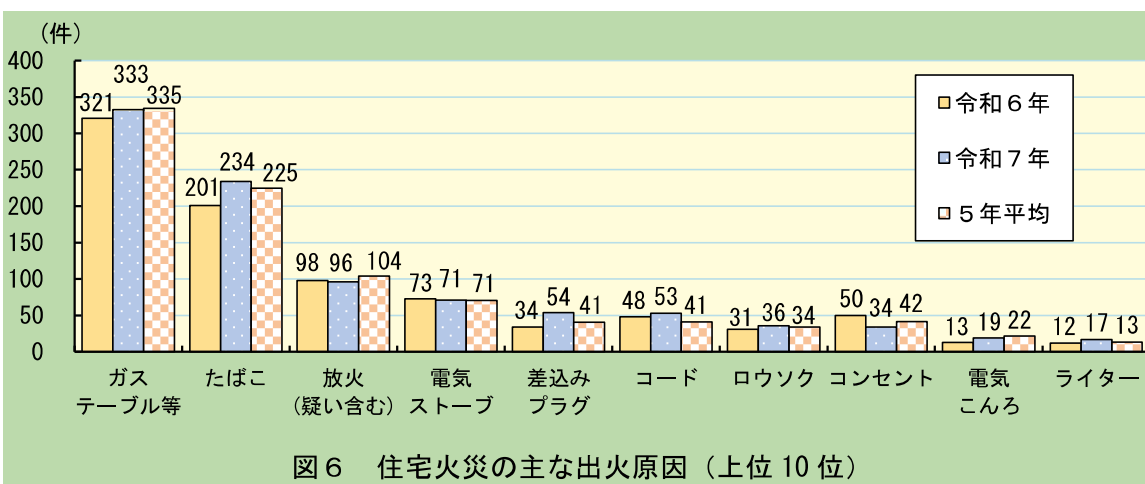
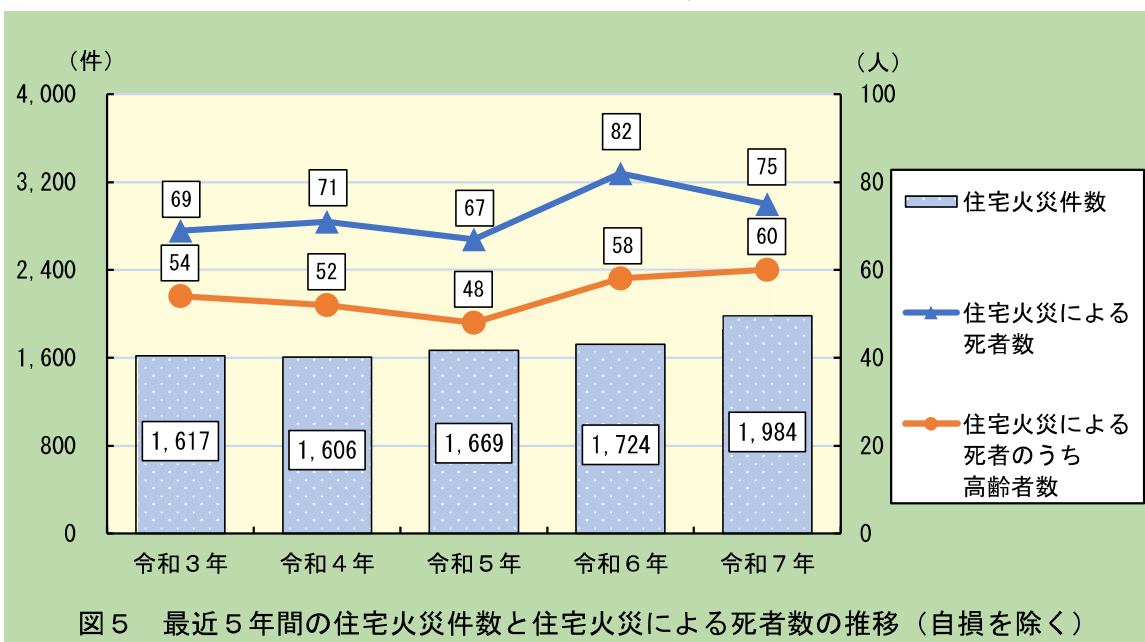
出主 火 原因 な		合 計	プ ラ ダ グ み	差 込 み	(放 疑 い 含 む) 火	コ ン セ ン ト	電 気 ス ト ー ブ	た ば こ	そ の 他
停 車 場	6年	48	-	8	2	1	3	34	
	7年	40	3	2	2	2	2	29	
	5年平均	33	1	4	1	1	2	24	
	前年比	▼8	3	▼6	-	1	▼1	▼5	

- 飲食店の主な出火原因を見ると、「大型ガスこんろ」が85件で最多。次いで「大型ガスレンジ」、「コンセント」の順。
- 事務所の火災件数は前年と比べ、約1.2倍に増加し、出火原因は「差込みプラグ」が18件で最多。

5 住宅火災の状況

(1) 住宅火災及び住宅火災による死者の状況

住宅火災件数と住宅火災により発生した死者数（自損を除く）をみたものが図5、住宅火災の主な出火原因別をみたものが図6です。



- 住宅火災は、1,984件で最近5年間では最多。
- 自損を除く住宅火災の死者は75人（前年比7人減少）発生し、このうち高齢者は60人（80.0%）で、前年と比べて2人増加。
- 住宅火災の主な出火原因をみると、ガステーブル等が333件（16.8%）、たばこが234件（11.8%）、放火（疑い含む）96件（4.8%）の順。

(2) 火元住戸における住宅用火災警報器又は自動火災報知設備、火災安全システム及び警備会社の警報器の設置状況

注1 住警器・・・住宅用火災警報器

2 自火報等・・・自動火災報知設備、住宅火災直接通報及び警備会社の警報器

ア 火災状況

火元住戸における住警器又は自火報等の設置状況をみたものが図7、住警器又は自火報等の設置区分別の火災程度の状況をみたものが図8です。

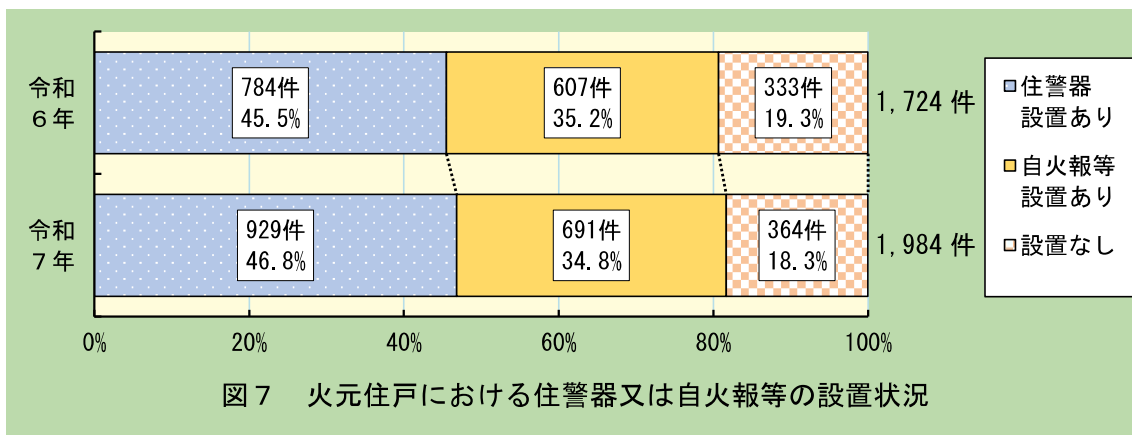


図7 火元住戸における住警器又は自火報等の設置状況

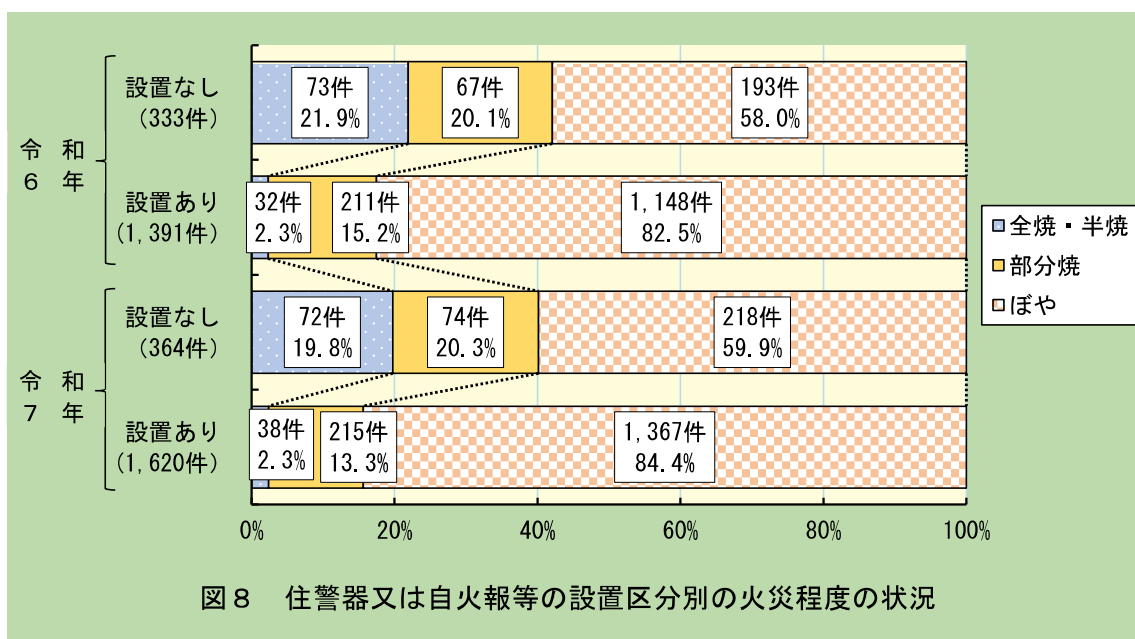


図8 住警器又は自火報等の設置区分別の火災程度の状況

- 住宅火災の火元住戸に住警器又は自火報等が設置されていた割合は、81.7% (1,620件) で前年 (1,391件、80.7%) と比べて1.0ポイント増加。
- 令和7年の「設置なし」の部分焼以上の割合は40.1%で、「設置あり」の15.6%と比べて24.5ポイント高い。

イ 死者の状況

住宅火災による死者（自損を除く）を火元住戸の住警器又は自火報等の設置状況別にみたものが表8です。

表8 住警器又は自火報等の設置区分別死者の状況（自損を除く）

設置区分	年別	合計	年齢区分					家族構成				
			5歳以下	6～19歳	20～64歳	前期高齢者	後期高齢者	一人暮らし者	高齢者含む家族	一人暮らし以外	高齢者世帯	その他
合計	6年	82	1	1	22	16	42	30	26	8	7	11
	7年	75	-	-	15	17	43	36	20	7	7	5
住警器あり	6年	33	1	1	11	3	17	10	11	5	1	6
	7年	26	-	-	4	5	17	15	4	-	3	4
自火報等あり	6年	12	-	-	2	4	6	9	-	-	1	2
	7年	8	-	-	2	1	5	3	3	-	1	1
設置なし	6年	37	-	-	9	9	19	11	15	3	5	3
	7年	41	-	-	9	11	21	18	13	7	3	-

○ 住宅火災による死者の発生状況で、火元住戸に住警器又は自火報等が設置されていない割合は54.7%で、前年（45.1%）と比べて9.6ポイント増加。

○ 住宅火災による死者の発生状況を家族構成別にみると、「高齢者一人暮らし」が36人（48.0%）で最多。前年30人（36.6%）と比べて11.4ポイント増加。

6 令和7年中の火災の特徴

(1) 電気設備機器の火災

平成元年以降の電気設備機器の火災の割合をみると、平成元年から平成15年までは増減を繰り返しながら12~14%台を推移していましたが、平成16年から15%に達して増加傾向となり、令和7年には41.3%まで増加しています。平成元年以降の火災件数と電気設備機器の火災の割合をみたものが図9、最近10年間の電気設備機器の火災状況をみたものが表9です。

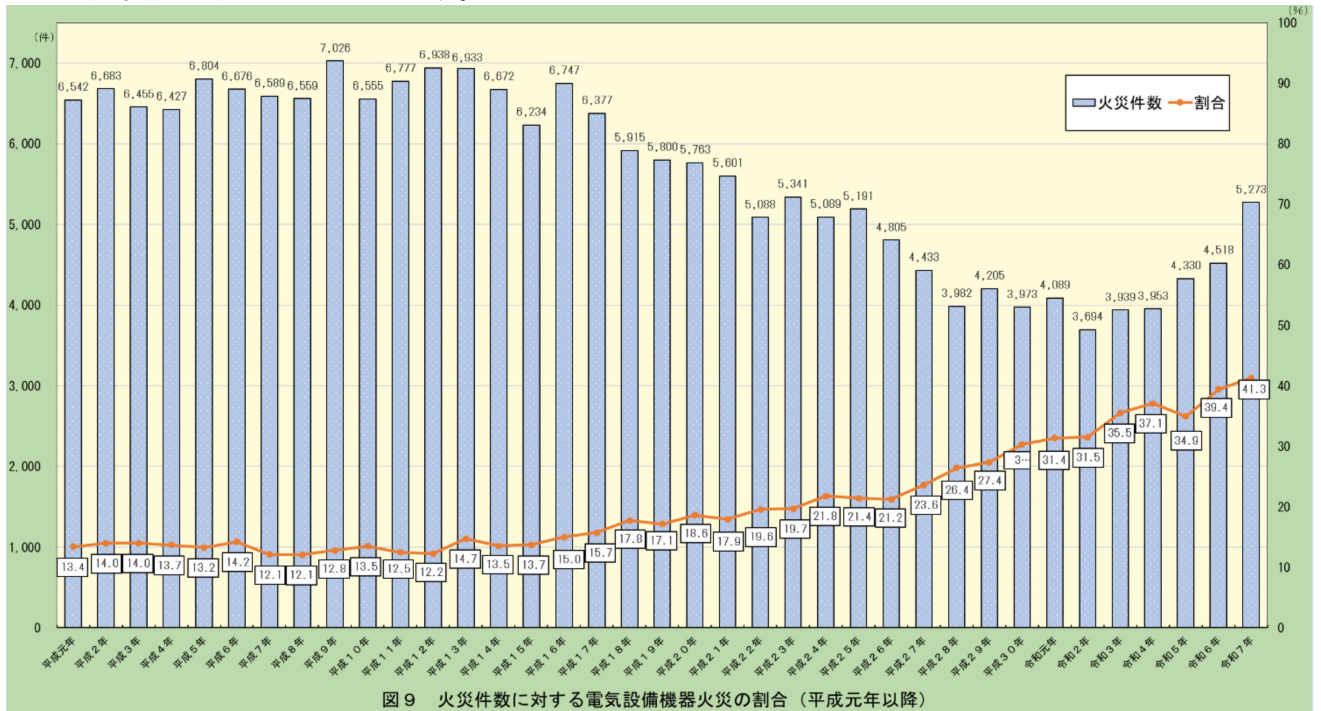


図9 火災件数に対する電気設備機器火災の割合（平成元年以降）

注 治外法権火災及び管外からの延焼火災は除きます。

表9 電気設備機器の火災の火災状況（最近10年間）

年 別	火災の種類											損害状況				
	合計	建物					林野	車両	船舶	航空機	その他	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者	負傷者
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや										
28年	1,052	924	11	18	108	787	-	1	-	-	127	3,526	1,856	931,198	11	192
29年	1,152	1,019	22	17	118	862	-	-	-	-	133	4,447	1,819	1,208,310	13	172
30年	1,205	1,043	14	28	113	888	-	-	-	-	162	3,933	1,549	1,051,712	11	164
元年	1,283	1,143	15	21	103	1,004	-	-	-	-	140	5,173	1,663	4,197,587	13	159
2年	1,163	1,057	13	15	102	927	-	-	-	-	106	2,767	1,646	917,825	14	159
3年	1,399	1,274	16	31	111	1,116	-	-	-	-	125	4,878	2,760	1,576,641	18	182
4年	1,467	1,298	28	17	116	1,137	-	-	-	-	169	7,415	1,764	1,614,097	19	206
5年	1,512	1,372	17	20	131	1,204	-	-	-	-	140	5,087	2,491	1,872,227	15	198
6年	1,781	1,618	23	24	133	1,438	-	-	1	-	162	13,132	2,066	2,390,667	20	254
7年	2,176	1,996	20	28	134	1,814	-	-	1	2	177	7,330	2,850	2,109,620	23	279

注 治外法権火災及び管外からの延焼火災は除きます。

電気設備機器の火災で、最近 10 年間の発火源（上位 10 位）別の発生状況をみたものが表 10 です。

表 10 発火源（上位 10 位）別の発生状況

年別	充電式電池	差込みプラグ	電子レンジ	コード	コンセント	テーブルタップ	（ACアダプタ含む） 直流電源装置	屋内線	電気ストーブ	ヘアードライヤー
28年	44	64	35	59	59	21	7	41	69	2
29年	24	64	45	73	59	27	8	40	74	5
30年	50	64	40	56	56	35	17	39	52	12
元年	51	85	47	61	56	29	12	56	62	6
2年	63	62	51	60	59	30	23	28	48	13
3年	87	82	65	53	86	28	33	42	54	12
4年	103	81	84	67	89	30	29	47	59	21
5年	109	81	87	68	87	44	37	37	48	32
6年	184	89	84	101	102	48	53	37	46	20
7年	249	129	116	97	89	65	54	53	52	47
合計	964	801	654	695	742	357	273	420	564	170
前年比	65	40	32	▼4	▼13	17	1	16	6	27
10年平均比	153	49	51	28	15	29	27	11	▼4	30

- 電気設備機器の火災件数は、2,176 件で、最近 10 年間で最多。
- 電気設備機器の火災における死者、負傷者は、どちらも最近 10 年間で最多。
- 10 年平均比では、充電式電池が最も大きく増加、次いで電子レンジ、差込みプラグが増加。
- 電気設備機器の発火源別上位 10 位のうち、差込みプラグ、コード、コンセント、テーブルタップ及び屋内線などの配線・配線器具類に分類される 5 種が入り、いずれも 10 年平均比で増加。

電気設備機器の火災で、出火要因別の発生状況をみたものが図 10 です。

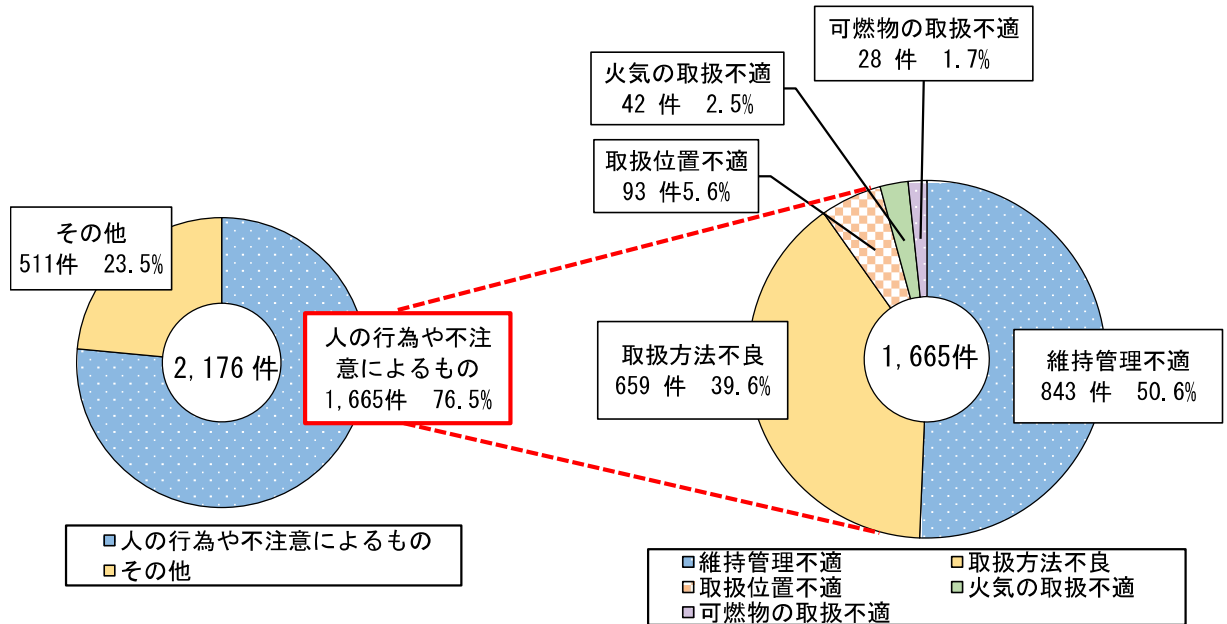


図 10 電気設備機器の出火要因別火災状況

主な例

- ・維持管理不適：低圧進相コンデンサを長年使用していたため、絶縁劣化により発熱して出火
- ・取扱方法不良：電子レンジの加熱時間を間違えたため食材が過熱して出火
- ・取扱位置不適：電気ストーブを布団に近接して使用していたため、寝返りした際に接触して出火
- ・火気の手扱不適：天ぷらや揚げ物調理に起因して食用の動植物油に着火した火災
(凝固剤に関する火災含む)
- ・可燃物の取扱不適：納戸に収納した段ボールがスポットライトに接触したままスイッチを点灯したため出火

- 電気設備機器の出火要因別火災状況をみると、人の行為や不注意によるものが8割近くを占める。
- 人の行為や不注意によるもののうち、維持管理不適、取扱方法不良が大部分を占めており、合計すると9割以上を占める。

(2) リチウムイオン電池関連火災

最近10年間のリチウムイオン電池関連火災の状況をみたものが、表11で、出火要因別製品別の状況をみたものが表12です。

表 11 リチウムイオン電池関連火災の状況（最近 10 年間）

年 別	火災の種類											損害状況			
	合 計	建物					林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	焼 損 床 面 積 (m^2)	焼 損 表 面 積 (m^2)	死 者	負 傷 者
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や									
28年	55	48	-	-	6	42	-	2	-	-	5	77	40	-	22
29年	56	47	-	-	5	42	-	7	-	-	2	32	41	-	4
30年	81	69	-	1	4	64	-	6	-	-	6	74	40	-	10
元年	102	95	1	1	11	82	-	2	-	-	5	400	257	-	12
2年	103	92	-	2	10	80	-	5	-	-	6	190	165	-	22
3年	140	124	5	5	16	98	-	5	-	-	11	860	289	-	30
4年	150	124	4	-	17	103	-	10	-	-	16	513	109	1	42
5年	167	151	1	1	23	126	-	2	-	-	14	811	119	-	14
6年	243	204	1	2	17	184	-	10	1	-	28	325	81	-	40
7年	382	330	4	6	26	294	-	14	-	2	36	1,283	349	-	66

注 1 リチウムイオン電池関連火災とは、リチウムイオン電池等を搭載した製品（差込みプラグ及び器具コードを除く。）から出火した火災をいいます、

2 リチウムイオン電池関連火災には、ごみ回収中のごみ収集車から出火した火災及びごみ処理関連施設（業態が一般廃棄物処理業及び産業廃棄物処理業）から出火した火災を除きます。

3 治外法権火災及び管外からの延焼火災は除きます。

表 12 リチウムイオン電池関連火災の出火要因別製品別

出火要因	合計	モバイルバッテリー	携帯電話機	電動アシスト付自転車	充電式カミソリ	コードレス掃除機	ワイヤレスイヤホン	ポータブル電源	電動工具	タブレット	加熱式たばこ	ノートパソコン	携帯型扇風機	その他	不明
合計	382	130	43	25	22	16	15	14	11	9	9	8	7	64	9
いつも通り使用していたが出火	130	62	6	5	2	5	6	3	2	2	-	1	4	32	-
外部衝撃（落下・外力等）	45	12	14	3	-	-	-	1	2	1	4	3	1	4	-
分解・廃棄等	35	5	17	-	-	1	-	-	-	3	1	-	-	8	-
充電方法誤り	12	-	-	-	8	1	-	-	1	-	-	-	-	2	-
使用方法誤り	11	-	2	2	-	3	1	-	3	-	-	-	-	-	-
製品の欠陥（リコール含む）	21	3	-	4	10	1	1	-	-	-	-	-	-	2	-
その他	63	27	2	7	1	3	3	3	-	2	3	3	2	6	1
不明（調査中の 20 件含む）	65	21	2	4	1	2	4	7	3	1	1	1	-	10	8

注 その他には、ポータブルスピーカー、LED照明、映写機、サーキュレータ、ポータブル高圧洗浄機、アクションカメラ、マッサージガンなどが含まれます。

- リチウムイオン電池関連火災の件数は382件で、最近10年間で最多。
- 製品別出火要因別を見ると、「モバイルバッテリー」が130件（34.0%）で最多。次いで、「携帯電話機」が43件（11.3%）、「電動アシスト付自転車」が25件（6.5%）など。
- 出火要因は、「いつも通り使用していたが出火」が130件（34.0%）で最多。次いで、「外部衝撃（落下・外力等）」が45件（11.8%）、「分解・廃棄等」が35件（9.2%）など。

(3) 火災事例

ア リチウムイオン電池関連火災

事例1 「改装工事現場で充電中の電動工具用バッテリーから出火した火災」

この火災は、改装工事現場の2階で充電中の電動工具用バッテリーから出火したものです。このバッテリーは非純正品バッテリーで、何らかの要因で内部短絡が発生して出火しています。

作業員Aは工事現場の2階で大きな音が2回聞こえたので確認したところ、自身が使用している充電中の電動工具用バッテリーから出火しているのを発見しています。作業員Bは、作業員Aが消火器の搬送を依頼する声に気づいたため、消火器1本を搬送し初期消火しています。作業員Cは工事現場の2階別室で作業中、叫び声が出たため見に行ったところ、消火された状態のバッテリーを確認したため、自身の携帯電話で119番通報しています。



写真1 出火時の復元状況



写真2 バッテリーの焼損状況

事例2 「リコール対象の電動アシスト付自転車用バッテリーから出火した火災」

この火災は、リコール対象の電動アシスト付自転車用バッテリーが短絡したことで出火しています。

居住者がバッテリーの充電を始めて別室にいたところ、爆発音を聞き充電していたバッテリーが燃えているのを発見しています。その後粉末消火器を使用しており、近隣住人が部屋のドアから煙が出ているのを発見したため119番通報しています。



写真3 室内の状況



写真4 焼損したバッテリーの状況

イ 人の行為に起因して出火した火災

本項目では、各事例に対する対策を記載しています。各種広報や都民指導等で活用してください。

事例1 「フロアコンセントのカバーでコードを踏みつけて出火した火災」

この火災は、事務室内の床に設置されているフロアコンセントの金属製カバーで接続されているコードを踏みつけたため、コードが短絡して出火したものです。



写真1 出火時の状況（孔の使用なし）



写真2 金属製カバーを展開した状況

対策

フロアコンセントは、接続した電源コードなどを挟み込まないようにカバー部分に孔が設けられています。この孔の存在を知らなければ活用もできないため、施設管理者などが、この孔の存在を明示して活用を促しましょう。不特定多数の方が利用する会議室では、フロアコンセントの設置場所を知らない方も利用するため、設置場所の明示も合わせて実施しましょう。

事例2 「差し込みプラグを抜くためにはさみを使用して出火した火災」

この火災は、抜け止め機能があるテーブルタップに接続されていた差し込みプラグを外すため、はさみを使用したことではさみを介して短絡したため出火したものです。この差し込みプラグは直流電源装置で、差し込みプラグ部分が回転する仕様となっています。

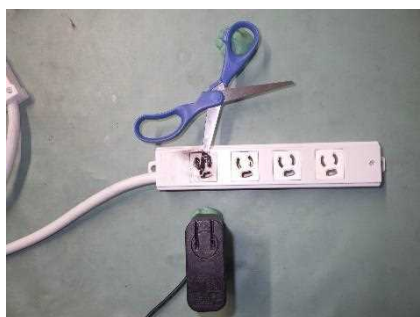


写真3 焼損状況



写真4 はさみとプラグの接触箇所

対策

テーブルタップには抜け止め機能として、差込みプラグを接続したあと回転させ固定するものがあります。抜くときは、接続したときの逆方向に回転させて抜きます。機器の表面に方向が記載されている場合もありますので、よく確認しましょう。また、接続する機器には今回のようにプラグ部分が回転するものがあり、抜け止め機能付きのテーブルタップには使用できない可能性がありますので、取扱説明書などをよく確認しましょう。

事例3 「電子レンジで調理不可の食品を包装ごと加熱して出火した火災」

この火災は、店舗利用客が電子レンジ調理不可の食品を包装から出さずに電子レンジに入れて加熱したため、出火したものです。



写真5 庫内の状況



写真6 食品の状況

対策

電子レンジは、電波により食品に含まれる水分を振動させて加熱しています。食品の包装にはアルミが使用されているものがあり、包装ごと電子レンジで加熱すると、アルミが電波を透過しないため、それにより発熱・スパークしたりすることで出火する場合があります。包装に記載されている調理法をよく確認しましょう。

事例4 「コードリールを巻き付けたまま使用して出火した火災」

この火災は、コードリールを使用時にすべて引き出さず、巻き付けたまま使用したた

め定格電流を超えて発熱し出火したものです。



写真7 火災発生時の設定状況



写真8 コード部分の焼損状況

対策

コードリールには、定格電流が定められており、巻き付けた状態とすべて引き出した状態では定格電流が異なります。一例として巻き付けた状態では5 A (500W) まで、すべて引き出した状態では15 A (1500W) までとなっています。本体や取扱説明書の記載をよく確認しましょう。

事例5 「ホテルの客室でネックレスを落とし差込みプラグに触れて出火した火災」

この火災は、宿泊客がホテルの客室でネックレスを落としたため、壁付コンセントに接続されていた直流電源装置のプラグ部分に触れたため、ネックレスを介して短絡し出火したものです。



写真9 火災発生場所付近の状況



写真10 直流電源装置の焼損状況



写真11 落としたネックレスの状況

対策

壁付コンセントに接続されている機器は、自重や配線の取り回し時に動かすことで、コンセントとの間にすき間が発生します。このすき間に、金属などが入り込むと、露出している差込みプラグの差し刃に接触し、入り込んだものを介して短絡し出火します。周囲にすき間に入り込むようなものを置かない、置かせない工夫が必要です。一例として、コンセントのない場所に木製箱型の小物入れを置くことなどが挙げられます。

この他の火災事例も検索できます

東京消防庁 火災事例検索



別表1 消防署別火災状況

消防署	建築物							状況					治外権	管外からの延焼火災	焼損積床面積 (㎡)	焼損積表面積 (㎡)	死者	負傷者
	合計	小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	林野	車両	船舶	航空機	その他							
合計	5,276	3,796	71	75	453	3,197	4	253	2	3	1,215	3	-	19,097	8,429	91	927	
丸の内	72	70	-	-	1	69	-	1	-	-	1	-	-	-	-	8	-	2
麹町	35	26	-	-	1	25	-	3	-	-	6	-	-	-	8	552	-	4
神田	60	51	-	-	2	49	-	1	-	-	8	-	-	-	2	3	-	6
京橋	85	70	-	-	6	64	-	2	-	-	13	-	-	-	5	32	1	5
日本橋	77	69	-	-	3	66	-	-	-	-	8	-	-	-	19	5	-	9
臨港	22	19	-	-	2	17	-	-	1	-	2	-	-	-	6	1	-	2
芝	82	67	-	-	6	61	-	5	-	-	10	-	-	-	44	64	-	8
麻布	65	52	-	-	3	49	-	3	-	-	10	-	-	-	12	27	-	7
赤坂	90	68	-	-	5	63	-	1	-	-	19	2	-	-	11	20	2	4
高輪	32	29	1	-	1	27	-	-	-	-	3	-	-	-	133	2	-	1
品川	44	35	1	-	4	30	-	1	-	-	8	-	-	-	266	35	1	7
大井	52	34	-	3	3	28	-	10	-	-	8	-	-	-	147	15	1	16
荏原	41	38	2	-	4	32	-	-	-	-	3	-	-	-	321	200	1	16
大森	82	66	-	1	10	55	-	7	-	-	9	-	-	-	1,376	533	1	27
田調	32	24	-	2	3	19	-	2	-	-	6	-	-	-	101	44	-	2
蒲田	110	84	-	1	3	80	-	3	-	3	20	-	-	-	94	21	-	7
矢口	36	23	-	1	2	20	-	1	-	-	12	-	-	-	87	25	-	13
目黒	106	87	3	2	10	72	-	6	-	-	13	-	-	-	798	246	3	16
世田谷	116	89	2	-	11	76	-	3	-	-	24	-	-	-	536	38	2	31
玉川	74	60	2	-	6	52	-	4	-	-	10	-	-	-	319	119	2	11
成城	61	49	-	-	9	40	-	5	-	-	7	-	-	-	56	60	1	7
渋谷	241	194	-	2	17	175	-	6	-	-	40	1	-	-	300	201	1	51
四谷	49	45	-	-	7	38	-	1	-	-	3	-	-	-	26	15	-	9
牛込	60	50	-	-	4	46	-	3	-	-	7	-	-	-	35	11	-	6
新宿	176	129	-	1	13	115	-	7	-	-	40	-	-	-	164	115	1	26
中野	65	51	-	3	6	42	-	4	-	-	10	-	-	-	148	39	1	9
野方	44	35	1	-	9	25	-	1	-	-	8	-	-	-	491	326	1	15
杉並	85	66	2	1	9	54	-	3	-	-	16	-	-	-	245	100	-	26
荻窪	56	45	-	1	6	38	-	4	-	-	7	-	-	-	135	298	-	12
小石川	56	48	-	-	4	44	-	-	-	-	8	-	-	-	17	8	-	4
本郷	57	49	-	2	2	45	-	2	-	-	6	-	-	-	29	87	-	5
豊島	71	52	-	-	10	42	-	-	-	-	19	-	-	-	164	418	1	15
池袋	46	36	-	-	8	28	-	2	-	-	8	-	-	-	85	44	4	5
王子	33	21	-	1	5	15	-	1	-	-	11	-	-	-	269	106	-	9
赤羽	45	36	-	-	3	33	-	1	-	-	8	-	-	-	32	4	1	11
滝野川	30	26	-	-	4	22	-	1	-	-	3	-	-	-	62	16	-	4
板橋	83	62	2	1	4	55	-	3	-	-	18	-	-	-	410	179	3	13
志村	94	72	3	2	10	57	-	7	-	-	15	-	-	-	623	254	2	26
練馬	54	42	3	-	2	37	-	1	-	-	11	-	-	-	382	67	2	13
光が丘	52	40	3	-	1	36	-	-	-	-	12	-	-	-	123	72	1	5
石神井	69	52	-	2	8	42	-	2	-	-	15	-	-	-	184	36	3	15
上野	69	48	-	-	7	41	-	3	-	-	18	-	-	-	14	30	-	8
浅草	27	22	-	-	-	22	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	2
日本堤	40	27	1	-	4	22	-	3	-	-	10	-	-	-	164	71	-	10
荒川	45	33	1	2	3	27	-	-	-	-	12	-	-	-	350	49	2	19
尾久	35	22	-	1	2	19	-	-	-	-	13	-	-	-	26	12	-	5
千住	48	29	-	2	1	26	-	1	-	-	18	-	-	-	107	22	1	5
足立	106	69	1	4	13	51	-	7	-	-	30	-	-	-	507	214	-	20
西新井	102	54	3	1	7	43	-	3	-	-	45	-	-	-	741	635	1	21
本所	64	47	1	1	3	42	-	5	-	-	12	-	-	-	147	45	-	5
向島	53	40	2	1	5	32	-	-	-	-	13	-	-	-	249	198	-	27
深川	100	75	-	1	7	67	-	9	-	-	16	-	-	-	85	21	1	15
城東	86	65	-	2	13	50	-	3	1	-	17	-	-	-	150	61	4	4
本田	93	63	2	4	9	48	-	5	-	-	25	-	-	-	353	142	3	16
金町	43	31	-	4	8	19	-	2	-	-	10	-	-	-	255	109	1	16
江戸川	73	41	1	-	5	35	-	4	-	-	28	-	-	-	496	164	1	13
葛西	78	54	-	-	6	48	-	7	-	-	17	-	-	-	121	58	1	22
小岩	59	36	1	2	1	32	-	5	-	-	18	-	-	-	199	71	3	12
立川	90	60	2	1	6	51	-	7	-	-	23	-	-	-	777	130	1	13
武蔵野	46	35	-	1	6	28	-	4	-	-	7	-	-	-	142	98	2	7
三鷹	43	32	-	2	2	28	-	3	-	-	8	-	-	-	85	55	1	7
府中	64	45	-	3	7	35	-	5	-	-	14	-	-	-	272	108	2	10
昭島	45	22	3	-	2	17	-	4	-	-	19	-	-	-	216	3	1	5
調布	64	38	1	1	5	31	-	6	-	-	20	-	-	-	294	77	-	11
小金井	44	28	1	-	3	24	-	2	-	-	14	-	-	-	102	41	-	8
小平	60	30	-	-	4	26	-	2	-	-	28	-	-	-	14	85	2	3
東村山	54	32	-	2	11	19	-	3	-	-	19	-	-	-	155	76	1	8
国分寺	26	15	-	-	2	13	-	1	-	-	10	-	-	-	40	20	1	5
拍江	17	13	-	2	3	8	-	-	-	-	4	-	-	-	109	24	1	6
北多摩西部	50	19	-	-	1	18	-	7	-	-	24	-	-	-	5	-	-	4
清瀬	33	14	-	-	3	11	-	2	-	-	17	-	-	-	30	20	1	2
東久留米	45	24	1	1	5	17	-	2	-	-	19	-	-	-	131	76	1	7
西東京	56	38	-	1	8	29	-	2	-	-	16	-	-	-	109	3	-	13
八王子	199	128	6	4	28	90	2	17	-	-	52	-	-	-	1,504	391	7	41
青梅	57	22	4	1	5	12	2	2	-	-	31	-	-	-	501	233	5	13
町田	151	73	4	1	11	57	-	9	-	-	69	-	-	-	571	290	3	22
日野	49	30	2	-	2	26	-	3	-	-	16	-	-	-	114	109	2	6
福生	41	27	1	3	9	14	-	4	-	-	10	-	-	-	248	84	1	18
多摩	41	25	-	-	6	19	-	2	-	-	14	-	-	-	76	1	1	10
秋川	37	28	7	1	3	17	-	1	-	-	8	-	-	-	1,151	157	3	7
奥多摩	3	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	222	-	1	1

注 治外権種の火災及び管外からの延焼火災は件数のみ計上し、他の項目欄には計上していません。

別表2 区市町村別火災状況

区市町村	火災の件数														焼損床面積 (㎡)	焼損面積 (㎡)	死者	負傷者
	合計	建物					林野	車両	船舶	航空機	その他	治外法権	管外からの延焼	外からの延焼				
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや												
合計	5,276	3,796	71	75	453	3,197	4	253	2	3	1,215	3	-	19,097	8,429	91	927	
千代田区	167	147	-	-	4	143	-	5	-	-	15	-	-	10	563	-	12	
中央区	184	158	-	-	11	147	-	2	1	-	23	-	-	30	38	1	16	
港区	269	216	1	-	15	200	-	9	-	-	42	2	-	200	113	2	20	
新宿区	285	224	-	1	24	199	-	11	-	-	50	-	-	225	141	1	41	
文京区	113	97	-	2	6	89	-	2	-	-	14	-	-	46	95	-	9	
台東区	136	97	1	-	11	85	-	6	-	-	33	-	-	178	101	-	20	
墨田区	117	87	3	2	8	74	-	5	-	-	25	-	-	396	243	-	32	
江東区	186	140	-	3	20	117	-	12	1	-	33	-	-	235	82	5	19	
品川区	137	107	3	3	11	90	-	11	-	-	19	-	-	734	250	3	39	
目黒区	106	87	3	2	10	72	-	6	-	-	13	-	-	798	246	3	16	
大田区	260	197	-	5	18	174	-	13	-	3	47	-	-	1,658	623	1	49	
世田谷区	251	198	4	-	26	168	-	12	-	-	41	-	-	911	217	5	49	
渋谷区	241	194	-	2	17	175	-	6	-	-	40	1	-	300	201	1	51	
中野区	109	86	1	3	15	67	-	5	-	-	18	-	-	639	365	2	24	
杉並区	141	111	2	2	15	92	-	7	-	-	23	-	-	380	398	-	38	
豊島区	117	88	-	-	18	70	-	2	-	-	27	-	-	249	462	5	20	
北区	108	83	-	1	12	70	-	3	-	-	22	-	-	363	126	1	24	
荒川区	80	55	1	3	5	46	-	-	-	-	25	-	-	376	61	2	24	
板橋区	177	134	5	3	14	112	-	10	-	-	33	-	-	1,033	433	5	39	
練馬区	175	134	6	2	11	115	-	3	-	-	38	-	-	689	175	6	33	
足立区	256	152	4	7	21	120	-	11	-	-	93	-	-	1,355	871	2	46	
葛飾区	136	94	2	8	17	67	-	7	-	-	35	-	-	608	251	4	32	
江戸川区	210	131	2	2	12	115	-	16	-	-	63	-	-	816	293	5	47	
八王子市	199	128	6	4	28	90	2	17	-	-	52	-	-	1,504	391	7	41	
立川市	65	47	2	-	5	40	-	4	-	-	14	-	-	282	114	1	10	
武蔵野市	46	35	-	1	6	28	-	4	-	-	7	-	-	142	98	2	7	
三鷹市	43	32	-	2	2	28	-	3	-	-	8	-	-	85	55	1	7	
青梅市	57	22	4	1	5	12	2	2	-	-	31	-	-	501	233	5	13	
府中市	64	45	-	3	7	35	-	5	-	-	14	-	-	272	108	2	10	
昭島市	45	22	3	-	2	17	-	4	-	-	19	-	-	216	3	1	5	
調布市	64	38	1	1	5	31	-	6	-	-	20	-	-	294	77	-	11	
町田市	151	73	4	1	11	57	-	9	-	-	69	-	-	571	290	3	22	
小金井市	44	28	1	-	3	24	-	2	-	-	14	-	-	102	41	-	8	
小平市	60	30	-	-	4	26	-	2	-	-	28	-	-	14	85	2	3	
日野市	49	30	2	-	2	26	-	3	-	-	16	-	-	114	109	2	6	
東村山市	54	32	-	2	11	19	-	3	-	-	19	-	-	155	76	1	8	
国分寺市	26	15	-	-	2	13	-	1	-	-	10	-	-	40	20	1	5	
国立市	25	13	-	1	1	11	-	3	-	-	9	-	-	495	16	-	3	
西東京市	56	38	-	1	8	29	-	2	-	-	16	-	-	109	3	-	13	
福生市	10	6	-	2	-	4	-	1	-	-	3	-	-	97	23	-	4	
狛江市	17	13	-	2	3	8	-	-	-	-	4	-	-	109	24	1	6	
東大和市	22	10	-	-	1	9	-	4	-	-	8	-	-	5	-	-	3	
清瀬市	33	14	-	-	3	11	-	2	-	-	17	-	-	30	20	1	2	
東久留米市	45	24	1	1	5	17	-	2	-	-	19	-	-	131	76	1	7	
武蔵村山市	28	9	-	-	-	9	-	3	-	-	16	-	-	-	-	-	1	
多摩市	41	25	-	-	6	19	-	2	-	-	14	-	-	76	1	1	10	
羽村市	11	10	-	-	6	4	-	-	-	-	1	-	-	77	15	1	5	
あきる野市	28	20	6	1	3	10	-	1	-	-	7	-	-	966	157	3	5	
瑞穂町	20	11	1	1	3	6	-	3	-	-	6	-	-	74	46	-	9	
日の出町	7	7	1	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	185	-	-	2	
檜原村	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
奥多摩町	3	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	222	-	1	1	

注 治外法権の火災及び管外からの延焼火災は件数のみ計上し、他の項目欄には計上していません。

別表3 主な出火原因別火災状況

主な出火原因	火災の件数														焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	死者	負傷者
	合計	建物					林野	車両	船舶	航空機	その他	治外権	管からの延焼	外の焼炎				
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや												
合計	5,276	3,796	71	75	453	3,197	4	253	2	3	1,215	3	-	19,097	8,429	91	927	
放火(疑い含む)	762	235	4	2	26	203	3	22	-	-	502	-	-	657	338	11	104	
たばこ	646	329	7	16	93	213	-	8	-	-	309	-	-	2,529	1,543	17	51	
ガステーブル等	354	353	2	1	28	322	-	-	-	-	1	-	-	506	151	7	10	
差込みプラグ	130	125	2	2	4	117	-	1	-	-	4	-	-	284	29	2	50	
大型ガスこんろ	108	104	2	3	26	73	-	-	-	-	4	-	-	543	218	1	29	
コード	98	94	4	5	20	65	-	1	-	-	3	-	-	964	375	5	9	
コンセント	89	89	-	-	3	86	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	24	
電気ストーブ	85	85	2	1	13	69	-	-	-	-	-	-	-	546	69	8	15	
火遊び	54	15	-	3	-	12	-	-	-	-	39	-	-	130	33	-	19	
屋内線	53	53	2	2	4	45	-	-	-	-	-	-	-	518	139	2	-	
ロウソク	40	40	2	1	6	31	-	-	-	-	-	-	-	182	149	-	7	
たき火	37	15	5	2	3	5	1	-	-	-	21	-	-	1,099	273	1	18	
配電線	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	4	
ライター	34	25	-	-	5	20	-	3	-	-	6	-	-	84	54	2	11	
溶接器	32	11	-	1	2	8	-	-	-	-	21	-	-	74	586	-	8	
蛍光灯	31	31	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
大型ガスレンジ	30	30	-	-	5	25	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	3	
電気こんろ	24	24	-	-	4	20	-	-	-	-	-	-	-	2	17	-	4	
蚊取線香	17	9	2	-	1	6	-	-	-	-	8	-	-	341	28	1	-	
石油ストーブ等	14	14	2	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	314	2	1	5	
モーター	13	13	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
電気冷蔵庫	10	10	1	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	206	147	-	-	
ガスストーブ	10	8	-	-	2	6	-	1	-	-	1	-	-	43	-	1	5	
コンデンサ	9	9	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-	-	313	26	1	5	
漏電	8	7	-	-	2	5	-	-	-	-	1	-	-	10	7	-	-	
花火	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	
火のついた紙	6	3	-	-	-	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	
テレビ	5	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
マッチ	5	4	-	-	1	3	-	-	-	-	1	-	-	20	12	-	1	
ガスバーナ	4	3	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	25	82	-	-	
風呂がま(家庭)	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	171	147	-	-	
白熱灯スタンド	2	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
治外権	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4	
管外からの延焼火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	2,519	2,049	32	35	202	1,780	-	217	2	3	248	-	-	9,531	3,977	31	139	

注 治外権の火災及び管外からの延焼火災は件数のみ計上し、他の項目欄には計上していません。

政 令 用 途 等		合	ガ	た	放	差	大	コ	コ	電	屋	ロ	蛍	大	ラ	電	火	た	石	モ	溶	電	蚊	コ	ガ	漏	テ	マ	ガ	火	風	白	そ	
		計	ス	バ	火	込	型	ー	ン	ス	内	ウ	管	型	イ	気	遊	火	油	ー	接	気	取	ン	ス	電	レ	ッ	ス	の	呂	熱	の	
			テ	コ	・	み	ガ	ド	セ	ト	線	ソ	光	ス	レン	こ	き	ス	ト	ー	器	冷	線	デ	ス	電	ビ	チ	パ	つ	が	灯	他	
			ー	コ	疑	ブ	ス	ン	ン	ト	ト	ク	灯	レン	ジ	ん	火	ト	ー	タ	器	庫	ン	ス	ト	電	レ	ッ	ス	の	が	灯	の	
			ル	い	イ	ラ	ン	ド	ン	ブ	線	ク	灯	ジ	ン	び	火	ト	ー	タ	器	庫	ン	ス	ト	電	レ	ッ	ス	の	が	灯	の	
			等	こ	イ	グ	ン	ド	ン	ブ	線	ク	灯	ジ	ン	び	火	ト	ー	タ	器	庫	ン	ス	ト	電	レ	ッ	ス	の	が	灯	の	
(13)項	イ	車庫	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ロ	駐車場	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	ハ	ヘリ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
(14)項		倉庫	26	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	19
(15)項		変電所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		官公署	22	-	-	-	1	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
		銀行	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
		事務所	211	3	2	1	17	1	14	3	3	2	1	6	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	151
		研究所	9	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	その他の事業所	130	1	1	41	4	-	4	3	2	3	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	67	
(16)項	イ	特定複合用途	1,268	44	71	34	62	81	33	43	17	28	7	16	26	4	4	1	1	-	8	-	5	1	1	1	2	2	1	1	-	-	1	773
	ロ	非特定複合用途	342	46	34	17	10	4	10	5	12	5	6	5	-	3	7	1	-	-	1	2	1	3	2	-	-	1	-	-	1	-	-	166
(16)2項		地下街	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
住宅等		住宅	585	64	52	28	22	3	15	10	19	10	10	-	-	3	4	4	1	11	-	-	3	-	5	2	1	-	-	2	1	-	-	315
		複合用途建物の住宅部	86	17	16	5	2	-	1	1	4	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
付		属建物等	23	-	4	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
空家等		空家	13	-	2	4	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
		使用中建物の空室部分	6	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
工事中		工事中の建物	26	1	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
		使用中建物の工事部分	16	-	-	-	1	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
		複合用途建物の共用部分	168	1	15	27	5	-	3	6	1	3	-	3	-	-	-	-	-	8	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	93
		建物以外から出火	98	-	40	18	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	9	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23

注1 「十六項イ及びロ」欄の各数値は、火元建物が複合用途のものについて再掲したものです。合計には計上していません。
注2 「住宅等」は、「住宅」と「複合用途建物の住宅部分」の件数について示したものです。
注3 「工事中」は、「工事中の建物」と「使用中建物の工事部分」の件数について示したものです。
注4 「空家等」は、「空家」と「使用中建物の空室部分」の件数について示したものです。
注5 主な出火原因の分類については注釈及び凡例のとおりです。

注釈及び凡例

注1 本通知内の小数点以下の数値は四捨五入しており、個々の数値の和が合計と合致しない場合があります。

注2 本通知内の表中の符号「-」は0又は該当数字なし、「▼」は減少を示しています。

注3 治外法権火災及び管外からの延焼火災は、件数のみ計上しています。

注4 本通知内の年齢区分は以下のとおりです。

前期高齢者・・・65～74歳 後期高齢者・・・75歳以上

高齢者・・・前期高齢者と後期高齢者の合算

注5 主な出火原因分類については以下のとおりです。

主な出火原因分類	発火源及び経過の内訳
放火・疑い	放火、無意識放火、放火の疑い
火遊び	火遊び
たばこ	たばこ
ガステーブル等	ガスこんろ、ガステーブル、ガスレンジ(都市ガス・プロパンガス)、簡易型ガスこんろ(プロパンガス)
たき火	たき火、焼却火
風呂がま(家庭)	風呂がま(都市ガス・プロパンガス・油・薪等・石炭)
溶接器	電気溶接器、溶接器(都市ガス・プロパンガス・アセチレンガス)、切断器(都市ガス・プロパンガス・アセチレンガス)、溶融片
石油ストーブ等	石油ストーブ、石油ファンヒータ、ガソリンストーブ、石油火鉢
花火	煙火、花火
マッチ	マッチ
ガスストーブ	ガスストーブ、ガスファンヒータ、ガス火鉢(都市ガス・プロパンガス)、簡易型ガスストーブ(プロパンガス)
電気ストーブ	電気ストーブ、温風機、ハロゲンヒータ、カーボンヒータ
コード	コード
取灰	取灰
差込みプラグ	差込みプラグ
ごみ焼却炉	ごみ焼却炉
ライター	ライター
電気こんろ	電気こんろ、電気クッキングヒータ
配電線	配電線・き電線(高圧・低圧)
コンセント	コンセント
大型ガスレンジ	大型レンジ(都市ガス・プロパンガス)
ろうそく	ろうそく、灯明、ちょうちん、燈ろう、走馬灯
蚊取線香	蚊取線香
漏電	漏電により発熱した部分
屋内線	屋内線
テレビ	テレビ
白熱灯スタンド	白熱灯スタンド
蛍光灯	蛍光灯、蛍光灯スタンド
コンデンサ	コンデンサ(高圧・低圧)、コンデンサリアクトル
大型ガスこんろ	大型ガスこんろ(都市ガス・プロパンガス)
ガスバーナ	ガスバーナ(都市ガス・プロパンガス)
火のついた紙	火のついた紙
電気冷蔵庫	電気冷蔵庫
モーター	単相モーター、三相モーター
その他	上記以外

※器具付きコードは出火した製品の本体に、消したはずのふとんはその他に計上しています。